

体協

第99号

平成26年1月15日

いよいよ来

発行：特定非営利活動法人 飯山市体育協会 / 〒389-2251 飯山市大字旭 4722 飯山市民体育館内 印刷：(有) 足立印刷所



○ 2014 飯山市民アルペンスキー大会
3月16日 (日) in 戸狩温泉スキー場

○ 2014 市民スキーフェスティバル
3月21日 (祝) in 長峰スポーツ公園

**大勢のご参加を
お待ちしております!!**

新年のごあいさつ

飯山市体育協会長 石澤 一芳



あけましておめでとうございます。さて、この号が皆様のお手元に届くのは冬季オリンピック・ソチ大会が目前に迫っている頃でしょう。本市出身の竹内択選手が2大会連続となるオリンピック出場を決めてくれているものと信じています。そして五輪本番での好成績を期待して、飯山市中が沸き立っている様子が想像されます。

市民の皆様、それぞれに新たな気持ちで新年のスタートを切られたことと拝察いたします。

昨年も多くの方に、体育協会の諸事にご理解とご支援、また、ご参加をいただきありがとうございます。

おかげさまで、加盟15団体が計画した大会・スポーツ教室等滞りなく実施できております。また、スポーツ少年団も2団体が新しく加わり、6団体として活動できたこともうれしいことでした、さらに競技力向上の面からみると、中高・社会人のそれぞれのクラスで各野球チームの活躍が光りました。この地域全体のレベルアップが図られていることを感じます。

明るい話題で年が明けるとを喜び、一年後の新幹線飯山駅開業に向けて各種スポーツイベントで地域が活性化されるよう体協としても頑張りたいと思っております。

また一年間よろしくお願いたします。



スキー シーズン到来

スキークラブ

高橋 直人

2013-14シーズンが到来しました。今シーズン飯山市内において、各種大会、イベントが開催されますがまず世界のイベント、ロシア・ソチで開催される冬季オリンピック(2014年2月7-23日)が注目的かと思えます。各種目においてオリンピック出場、メダル獲得に向けて、活動されているかと思いますがその中でスキーの町飯山市出身で全日本強化指定選手でありオリンピック等の出場が有力な選手を紹介し

バレーボールクラブ 部長渡辺氏が表彰されました

バレーボールクラブ

鷲森 仁

バレーボール部部長の渡辺幹雄氏が平成25年8月23日新潟県長岡市で行われた第68回国民体育大会北信越予選大会に於いて、北信越バレーボール連盟より、永年に渡るバレーボールの

たいと思います。

○アルペン競技

全日本強化ジュニアB指定

小林竜登選手(飯山高専三年)

○ジャンプ競技

全日本強化B指定選手

竹内 択選手

(北野建設(株)スキークラブ)

○全日本強化C指定選手

作山 憲斗選手

(北野建設(株)スキークラブ)

上記の選手がロシア・ソチで開催される冬季オリンピック候補選手として有力かと思われるので、ぜひ皆さんの応援よろしく願います。そしてオリンピック等の出場に期待がかかった選手を輩出した飯山市においても、注目のイベント、大会がありますので一部ご紹介したいと思います。

普及と発展に尽力をされたという事で表彰されました。

渡辺部長は40年前から飯山市体協バレー部に所属し、役員として数多くの大会の開催・運営に携わって来ました。その傍ら全日本審判員の資格を取得し、長野県で行われる主要な大会において決勝の主審を務めるなど手腕を發揮しました。

現在は、(副)長野県バレーボール協会の理事として協会の運営、競技力の向上、普及発展な

アルペン競技では、2014戸狩ジュニアアルペンスキー大会(1月26日)、第1回戸狩マスタート大会(2月27-28日)が今シーズンより新規大会として開催。クロス、ジャンプ

競技では、ナイターズプリント

レース(2月26日/3月5日)。

2014市民スキーフェスティバル(3月21日)に開催予定です。上記以外にも飯山市

スキーカレンダ

にて掲載されてい

ますのでご確認と

参加可能なイベン

ト等については、技

術、体力向上、子ど

も、大人達の交流も

兼ねての参加を心

よりお待ちしております。

ります。

どさまざまなご活躍をされております。特に長野県におけるワールドカップ、グラチャンなど国際大会では、エンターメント部長として大会を大いに盛り上げ、大会成功の一助を担われました。

受賞おめでとうございます。

ありがとうございました。

受賞おめでとうございます。

ありがとうございました。



b.jリーグを 体感

三バスケトボールスポーツ少年団
達家 朗

11月10日に、プロバスケット
信州ブレイブオリアーズの
ホーム戦での、エキシビジョン
マッチ(前座試合)に招待され、
参加しました。対戦相手は、須
坂ミニバスチームでした。

観客も居る、プロが実際に使
う広いコート・高いリング、場
内は大音量でBGMが流れ、拍
手の中一人一人名前をアナウン
スされコートに入場しゲームが
開始となった。子ども達もテン
ションが上がり、緊張で真っ白
にならず、足も良く動き、良い
パスも出るし、シュートも決ま
るし、パスカットもするし、デイ
フエンスでは相手を完璧に押し
返して、前半は22-4ととても良
い内容でした。後半も勢いは止
まらず、終始相手を圧倒して結
果は42-16と圧勝して試合は終
了した。

相手は全員6年生チームで
県大会東北信地区4位と強い
チームにもかかわらず、飯山
チームは、5・6年生が友情と
気迫と笑顔で、楽しく勝ったん
じゃないかなと思いました。

その後の、信州ブレイブウオ
リアーズも勝利し、楽しく観
戦してたよ
うに思いま
す。プロ選
手とも記念
写真も撮っ
たし、自分
達も試合に
勝ったし、
とても良い
経験をした
ように思い
ました。



第62回長野県縦 断駅伝を終えて

陸上競技協会
中原 優

晩秋の信濃路を北から南へタ
スキをつなぐ「長野県縦断駅伝」
が11月16・17日の2日間行われ、
飯山栄チームとして参加してき
ました。

昨年の大会が終わってから、
選手・スタッフ共に目標を立
て、チーム作りに取り組んでき
ました。選手同士の絆を深める
ための交流会や、合同練習とは
別に自主的に数人が集まって練
習するなど、例年のない雰囲気

でチーム作りが進んでいきま
した。その中心になったのが、
選手兼コーチであった、山室選
手と浦野選手です。山室選手は
言うまでもなくクロスカント
リースキーの一流選手であり、
昨年の大会でも活躍した選手
です。浦野選手は転勤により久
しぶりに飯山栄チームとして
参加できるようになった選手
ですが、上伊那を始め他の強豪
チームでこの縦断駅伝を何度
も走っている選手です。中高生
へのアドバイスから、監督や他
のコーチと共に練習メニュー
を考えたりと、献身的な姿勢で
チームを支えている姿は、他の
選手やスタッフの見本となっ
ていました。

大会当日は、絶好の駅伝日和
となり、選手は一年間の練習の
成果を存分に発揮してくれま
した。ゴール地点である飯田合
同庁舎に堀田キャプテンが飛
び込んできた時は、熱いもの
がこみあ
げてきま
した。記
録は前年
を10分上
回るタイ
ムでした
が、目標
には及び
ませんで



した。
今年から、飯山栄チームは
変わりました。今までになかつ
たものが今年のチームにはあ
りました。来年に向けて既にス
タートしています。これからも
飯山栄チームの応援よろしく
お願いいたします。

形競技大会に 参加して

柔道連盟
坪井 清仁

柔道にはオリンピック等で
行われる試合と形の競技会があり
ます。柔道の形は経験者でも主
に投の形か柔の形くらいしか知
らないと思います。しかし講道
館では、柔道の形には、投(なげ)
の形・固(かため)の形・極(き
め)の形・柔(じゅう)の形・
講道館護身術・五(いつつ)の
形・古式の形・精力善用国民体
育の形があり、現在全日本の競
技として行っているのが、精力
善用国民体育の形以外の7種目
です。また、最近では、世界大
会も開催されています。

私は、昇段の為に極の形を習
い始め十年程になります。習い
たての時は、北信越大会に参加
しましたが、2位という結果で

した。全国大会に出場出来るの
は、北信越大会で優勝しなけれ
ば出場資格が与えられません。
その後は、全国大会出場を目
指し練習を重ね全国大会に出
場出来るようになり、三位入賞
出来ました。その毎年全国大会
に参加でき平成二十二年度の正
月には、講道館の鏡開きでの演
技をさせてもらいました。また、
二十四年度には準優勝になり
アジア大会には出場出来ませ
んでしたが、全柔連より推薦さ
れ今年の四月二十九日の日本
武道館で開催された、日本選手
権の準決勝前に形の演技をさ
せてもらい貴重な経験をさせ
ていただきました。

今年の十月には、京都で形の
世界大会が開催されました。全
国大会で優勝出来れば出場出
来るのですが、今年は世界大会
出場を目指して練習を重ねま
したが、結果は昨年と同じ準優
勝でした。現在全柔連の形強化
指定選手
として、
日々練習
を積んで
います。
いつか世
界大会出
場出来る
ことを夢
見て。



飛躍の時期

卓球クラブ

石澤 誠直

毎年、秋はひとつの節目を迎えます。

三年間頑張った結果を存分に発揮し、これからの進路を決める…

一方、その先輩の背中を見て育った後輩たちは「次は自分が…」と自らを奮い立たせ、新戦に挑みます。

つい最近中学に入学したばかりだと思っていたクラブ員が使っているラケットも、半年分の汗を吸い、グリップが「ほんのり」と黒くなってきました。

はじめはラケットにボールを当てる事ができずに、何度も何度もボールを拾いに走っていた彼らですが、今ではラリーが続くようになり、各々の個性に磨きをかけています。

写真撮影をした当日は、飯山に初雪が降った日ですが、市民体育館を埋め尽くす部員が練習に足を運んでくれていました。



日頃は練習台が足りなくなり、一台の卓球台を2組が同時に練習に使っており、あの小さい40ミリのボールとボールが台の上で接触するというアクシデントも最近では珍しくありません。

春季大会や夏季大会へ三年間の努力をぶつけ、「一つの節目」を迎えた部員達が静かにコートに後にしたというわけではなく、自らの技術をさらに高めるため、今もコートで汗を流し後輩の育成をしています。

体協飯山99号が発刊される頃は卓球教室が始まる時期でもあり、その少し後には、新しいクラブ員が真新しいラケットを握りしめ、足を運んでくれる時期になります。

彼らが節目を迎える時期に、笑顔で「やっつけてよかった」と言ってもらえる事ができるよう、クラブの運営に努めていきますので、今後ともよろしくお願いたします。

また、沢山のご参加をお待ちしておりますので、遠慮なく会場へ足を運んで下さい。

一年を通して思うこと

ソフトテニス協会

成田 詮

当部も12月8日(日)のインドア大会を持って終了となりました。庭球場も冬への準備が体協事務局のご尽力により、終わっております。

さて、一年を通して大会を思うに、やはり参加者の顔ぶれが同じで、新しく参加された人はわずかでありました。ソフトテニスの人口の減少が顕著と言う事だと思えます。しかしながら、飯山市の人口減、少子化の中で、どのように考えていけば良いか、暗中摸索状態です。

日本体育協会では、百周年(二十二年)迎えて、次の50年をどうするか、という議論がなされています。その中で、スポーツは大きな変わり目にあるといわれています。これからはスポーツ文化の多様化と多元化で、女性とか、高齢者、障害者を持った人へのスポーツの並びだけでなく、真の文化として全ての人々が楽しめる、スポーツ文化を達成させていくのがこれからの50年の課題であると日体協、指導者広報、情報部会長の立教

大学松尾哲也氏が述べています。

これからのスポーツ組織は経済的にも自立していく方向を現況よりも強く持つ



といわれています。優秀な日体協公認のクラブマネージャーが必要で、日体協、文部省、県教育委員会等の研修会により、この飯山市体協にも資格を持つた、若い指導者がほしいものです。いずれにしても、当部を維持していくが、智慧をしばりたいたいと思っています。

飯山で新生活!!

弓道会

亀山 静香

パン！緊張感のある静寂した道場に弦音と的を射る音が響く。この音、この空間がなんともいえないほど心地よい。

佐久市出身の私が飯山で弓道を始めて9カ月。勤務先に馴染めるか不安でいっぱいだったが大会を勧めていただいたり、審



査会に参加したりと、弓道を始めてから充実した毎日を送っている。

初めて弓道を始めたのは高校入学時。始めは進んで居残り練習を行うほどのめり込んでいたが、進級する頃には熱が冷め、違う部に精を出し、しばらくの間弓道から離れていた。それから10年ほど経ち、飯山に転勤。主人の進めもあり、初心者教室の参加を決意した。弓道場は飯山城址の一郭にあり、大会などで使用するような立派で大きな道場だったのでとても驚いた。厳しい先生だったがどうしようかと思っていたが、優しい先生ばかりで、個々に合わせ丁寧に教えていただいている。一緒に稽古する方達にも恵まれ、稽古日が来るのが待ち遠しい。いつか、美しく格好よい射が出来るよう、これからも日々修練していきたい。